

経営の概要

基幹作物：大麦 5ha（ファイバースノウ）、水稻（主食用30ha、飼料用3ha）、加工キャベツ・ブドウ50a（R5年産）※大豆4haは、大麦後に作付け

大麦の上位等級比率 1等 91%（R5）、単収 490kg/10kg（県平均単収 274kg/10a）R5年産

特徴：排水対策を重視した技術（フルクローラー式トラクター、サブソイラーによる額縁排水）を組み立て栽培を実施し、高単収を実現。

大麦・大豆は2年3作体系で作付けし、大麦の後に大豆の栽培を行っている。

栽培のポイント

○当該地区は湿害が発生しやすい条件であり、排水対策に用いるトラクターはフルクローラー式を用い、旋回を行わないことで水たまりができるのを防いでいる。更に、サブソイラーと額縁排水を実施するなど重層的な湿害対策を実施。

経営のポイント

○大型機械を利用した農作業の効率化とともに、播種の際に耕起・施肥・播種・除草剤散布を同時に行う、ドローンによる尿素追肥を実施するなど、個別工程の能率化を進めることで、10aあたりの作業時間を2.1時間（全国平均3.9時間）に縮減。

○収益向上のため、育苗ハウスを活用したブドウ栽培、加工用キャベツ栽培を導入。【ドローンによる尿素追肥作業】

○経営規模において、10～20haほどの拡大余力を保持（大麦は現状5haから8～10haまで拡大可能）。

○大麦栽培のための汎用コンバインの導入により、更なる作業の効率化と希望拡大を構想中。



今後の展望

○令和6年に株式会社での法人化を予定。妻・息子が調理師免許を取得しており、将来的に直売所・農家レストランの展開など経営の多角化も検討していきたい。